

令和元年度・子ども・子育て支援事業計画進行管理表

(1) 年次計画(計画値, 実績値) 単位(人)

				①量の見込 (必要利用 定員総数)	②確保の内容 (計画定員)		③確保内容の実績 (R2年4月1日の定員)		③(実績)－ ②(確保)	入所人員の実績(参考) (R元年度末の入所人員)	
					幼稚園・保育園 ・認定こども園	地域型 保育事業	幼稚園・保育園 ・認定こども園	地域型 保育事業		幼稚園・保育園 ・認定こども園	地域型 保育事業
令和元年度	教育	1号	3-5歳	764	1,430		1,316		△ 114	696	
		2号	3-5歳								
		合計		764	1,430		1,316		△ 114	696	
	保育	2号	3-5歳	1,929	2,040		2,162		122	2,094	
		3号	0歳	110	237	36	244	41	12	250	49
			1-2歳	1,005	932	109	1,003	123	85	1,082	101

※ ①量の見込・②確保の内容は計画値。
※ ③確保内容の実績については翌年度4月1日現在の利用定員(県の進捗管理と整合)。
※ 入所人員の実績については、各年度末の入所人員。

(2) 実績値の説明

◎教育

②確保の内容(計画定員)と③確保内容の実績(R2年4月1日の定員)の乖離の原因

②確保の内容	③確保内容の実績	入所人員の実績(令和元年度末)
公立幼稚園	960人 → 960人	322人
花園第二	30人 → 30人	31人
川本若竹	320人 → 320人	343人
マハヤナ	120人 → 0人	0人
豊里	0人 → 6人	0人

・マハヤナ幼稚園が平成30年度末に廃園となったことで、120人減となり、令和2年4月1日より豊里こども園が開始され、6人の増となった。

・入所人員の実績と③確保の内容については、確保量が入所人員を上回っているため、希望者が全て入園できた。

◎保育	
②確保の内容(計画定員)と③確保内容の実績(R2年4月1日の定員)の乖離の原因	
219人増の内訳については、市の単独補助である待機児童解消施設整備費補助金(※)によるものが119人、新設園の開園等によるものが100人となっている。	
(※)・・・待機児童解消のための緊急的な取組みとして、定員の増加を目的に増改築を行う市内既存保育施設に対し、その整備費の一部を期間限定で補助したものの。	